



全国のアマチュア落語家等による落語会 「第17回落語 in おおや！全国素人名人会」開催

全国トップクラスのアマチュア落語家等、総勢7人が11月23日（土）、おおやホール（養父市大屋町山路）に集い、プロ並みの落語・マジックパフォーマンスを披露します。

チケットは前売り500円で、9月20日（金）から養父市民を対象に先行発売、一般販売は9月27日から行います。

また、公園前日の11月22日（金）には、おおやホールに大屋小学校、中学校の児童・生徒130人を招待し、日本の伝統芸能である落語を体験していただきます。



春乃そよかぜ



水都家艶笑



春歌亭丹馬



秋風亭てい朝



春野夢人



千里家圓九



笹の家小夏



千里家一福

- 1 日時 2024年11月23日（土）午後2時開演（午後1時30分開場）
- 2 会場 養父市立おおやホール（養父市大屋町山路7番地）
- 3 出演 春歌亭丹馬（兵庫県）、春乃そよかぜ（兵庫県）、水都家艶笑（新潟県）、秋風亭てい朝（広島県）、春野夢人（新潟県）、千里家圓九（大阪府）、笹の家小夏（東京都）、千里家一福（大阪府、下座）
- 4 入場料 500円（全席指定／当日券は500円増し） ※全席指定
- 5 チケット発売
(1) 養父市民先行発売 2024年9月20日（金）午前9時～26日（木）
(2) 一般発売 2024年9月27日（金）午前9時
- 6 チケット販売
(1) Web予約 予約サイト <https://p-ticket.jp/yabu>
(2) 窓口販売 大屋地域局、市内各公民館
- 7 大屋小中学校児童生徒招待公演
(1) 日時 2024年11月22日（金）午後1時30分開演
(2) 会場 養父市立おおやホール（養父市大屋町山路7番地）
(3) 対象 大屋小学校4～6年生 60人 大屋中学校1～3年生 70人
(4) 出演 春歌亭丹馬（兵庫）ほか
※演目は23日の公演と異なります。

問合せ

市民生活部 大屋地域局 地域局長 上村 圭 担当者 近藤 一樹
電話 079-669-0120

第17回 落語inおちや! 全国素人名人会

出演者紹介

春乃 そよかぜ

—はるの・そよかぜ—

本名:田邊颯花(たなべ・そよか)
2007年、兵庫県豊岡市生まれ。たんたん落語笑年団に所属。2022年、「出石永楽館・全国子ども落語大会」で最優秀賞を受賞し、子ども落語家日本一に。2023年、石川県で開催された国民文化祭に全国8名に最年少で選ばれた。近大豊岡高校2年生。



水都家 艶笑

—みなとや・えんしょう—

本名:坂井 勲(さかい・いさお)
1955年、新潟県生まれ。米づくり農家で、「新潟落語会」の会長。新潟市で「ほのぼの寄席」を毎月1回開催し、20年以上続いている。各地への出前寄席を重ね、初高座から49年になる。2000年、広島で開催された国民文化祭で最優秀賞を受賞。「米づくり中心から落語中心の生活へ変わってきた」とのこと。「道楽で目いっぱい楽しい人生を送ってまーす」と、いたって明るい。



春歌亭 丹馬

—しゅんかてい・たんば—

本名:田中久典(たなか・ひさのり)
1953年、兵庫県丹波篠山市生まれ。県立高校の非常勤講師。「たんたん落語会」を結成し、地元各地で定期寄席を開催しているほか、敬老会、高齢者学級、PTA総会、各地の文化祭など、あちこちに出演。2023年、石川県で開催された国民文化祭で最優秀賞を受賞。笑福亭鶴笑師や林家つる子師とのプロ・アマ共演の落語会も開催。また、出石永楽館での「全国子ども落語大会」の事務局もつとめる。



秋風亭 てい朝

—しゅうふうてい・ていちょう—

本名:本名、沖 博義(おき・ひろよし)
1956年、広島県生まれ。(株)NTTファシリテーズの営業マン。長年、広島演芸協会の会長を務める。「てい朝の落語をぶつ会」は29年目で66回を数える。広島で落語教室の講師を務め、地元アナウンサーにも落語を教えている。1998年、大分県で開催された国民文化祭で、最優秀賞を受賞。映画「モヒカン、故郷に帰る」にも出演。夢は90歳まで落語を続けること。



春野 夢人

—はるの・ゆめと—

本名:渡邊政人(わたなべ・まさと)
1953年、新潟県生まれ。元会社員。「新潟落語会」のマジック部に所属し、新潟県内を中心に活躍するアマチュアマジシャン。笑わせるマジックを目指して奮闘中。絵画の才能もあり、絵手紙を趣味として頼まれもしないのに知り合いに送り続けている。送られた人は大切にファイルしているという。



千里家 圓九

—せんりや・まるく—

本名:西本文洋(にしもと・ふみひろ)
1968年大阪府生まれ。豊中市職員。「高石落語集団パンセの会」と「社会人落語集団天狗の会」に所属。落語だけでなく、笛・太鼓も器用にこなし、名ピラの寄席文字も書く。「全国社会人落語選手権」で何度も優勝し、名実ともに社会人落語界の実力者とまわりのみんなが認めている。「大屋の皆さん、私の父方は村岡、母方は関宮の出身です。ホームに帰ったつもりで頑張ります!」



笹の家 小夏

—ささのや・こなつ—

本名:外山節子(とやま・みさこ)
1964年、静岡県生まれ。東京都台東区在住。社会福祉法人職員。大家が銭湯!が自慢。風呂無しクーラー無し生活だったが、最近クーラー設置。快適な夏を過ごしている。学生時代、落語研究会に所属していたが、まさか社会人で落語をやっている人などいないだろうと落語を封印。しかし、18年前そういう人に出会って再開。2018年、「ちりとてちん杯全国女性落語大会」で優勝。



下座
紹介

千里家 一福

—せんりや・いっぷく—

本名:土井道渡(どい・みちと)
1984年、大阪府生まれ。システムエンジニア。「高石落語集団パンセの会」、「社会人落語集団天狗の会」に所属。関西大学の落研(落語大学)で三味線に出会い、寄席囃子の魅力に取りつかれる。あちこちの落語会に顔を出し、三味線を弾いている。



太鼓/迷探亭 小ん南 笛/千里家 圓九